



高円宮殿下日本 カナダ記念基金

<http://www.uofaweb.ualberta.ca/takamado/>

第2号 2009年11月

ニュースレター

INSIDE:

- I. 高円宮殿下日本カナダ記念基金近況報告
- II. 会計報告
- III. PTJCMF学生モビリティ奨学金プログラム
- IV. カナダ日本研究ネットワーク(CANJAS)報告

高円宮殿下日本カナダ記念基金(PTJCMF)は、長年アルバータ大学及びカナダの大学教育に多大な貢献をされた故高円宮殿下を記念して設立されました。カナダのクイーンズ大学での3年間のご留学後、国際交流基金にご勤務され、世界各国での日本語及び日本文化の振興にご寄与されました。この記念基金は学生のモビリティ(移動・往来)を奨励・支援し、日本分野の新しい教育方法、研究や文化交流プログラムを助長することにより、日加関係を強化することを目標としております。

I. 高円宮殿下日本 カナダ記念基金近況報告

2008~2009会計年度中、ファンドレイジング委員会(日本側)は目標の寄付金¥1,000,000に到達しました。2008年11月15日には、アルバータ大学教務部長カール・アムライン博士及びアルバータ大学副学長が寄付者やアドバイザー・募金委員会を招き、謝恩晩餐会を主催いたしました。この晩餐会には、高円宮妃殿下及び、在日カナダ特命全権大使ジョナサン・フリード閣下にもご出席いただきました。

ファンドレイジングの第一歩として、アルバータ大学卒業生との関係再開を試みました。11月に東京の在日カナダ大使館で開催されたアルバータ大学設立100年記念祝典には、50人以上の卒業生及び関係者が参加しました。高円宮日本センター所長下野香織博士、国際開発事務所所長デイビッド・ジュウ氏は卒業生や関係者との繋がり確立に尽力しています。

2009年春から夏にかけて下野香織博士、キャサリン・ザボ文学部学部長補佐(渉外担当)が、カナダ側ファンドレイジング委員会と共に募金活動を開始いたしました。

ドナルド・キャンベル氏、ダン・ハイズ閣下、ブラッド・クラック氏、ロバート・リッチー氏、ヘンリー・シミス医師は下野博士、ザボ氏と共にPTJCMF募金額1,000,000カナダドルを目標とし、募金活動をする意向を示しました。



ペンビナ・ホール、アルバータ大学
高円宮日本文化交流・研究センター拠点

II. 会計報告

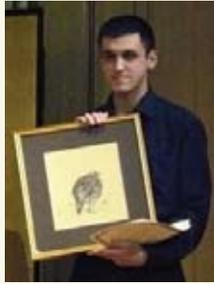
2009年3月時点で、寄付金の帳簿価格は1,323,547.62ドル、市場価格は1,053,335.07ドルになります。3月以降、24,819.30ドルの寄付が更に追加されました。アルバータ政府からの2009-10年度のマッチング・ファンディングは現時点では未定です。2009年10月23日付けの運営資金は、76,513.57ドルとなり、この中から47,000ドルが2009-10年度の運営にあてられています。

III. PTJCMF学生モビリティ奨学金プログラム

PTJCMF賞受賞者(2008-2009年度)

全カナダ日本語弁論大会(2009年3月29日
且在オタワ市日本大使館にて開催)

オンタリオ州、オタワ市チャールトン大学在学の、ヤホァー・カズロウさんが「それぞれの調和」を題したスピーチで優秀な成績を収め、高円宮日本カナダ記念基金大賞を受賞しました。賞金として、カズロウさんには3,000ドルが授与されました。カズロウさんは授与された賞金を使い、今年の5月に日本を訪れました。大会受賞のインタビューでカズロウさんは、「今回で全カナダ日本語弁論大会に参加をするのは二回目ですが、毎回私の日本語が上達し、そして日本文化の知識が深まってきたように思えます。この大会は、文化交流だけではなく、それぞれの参加者が日本語上達のためのモチベーションを上げる良い機会だと思います。」と述べました。カズロウさん、大賞受賞おめでとうございます。



2009-2010年度PTJCMF賞プログラム

全カナダ日本語弁論大会(2010年3月)

2010年度の全カナダ日本語弁論大会はオンタリオ州トロント市のヨーク大学にて開催されます。PTJCMFは今回も3,000ドルの大賞賞金を授与します。

高円宮妃殿下英語小論文コンテスト(試験的実施)

高円宮妃殿下英語小論文コンテストは、日本の大学生を対象に英語力の向上とカナダ文化への関心を高めることを目標としています。

今回は試験的実施として、立命館大学を始め、京都近郊の大学を対象にしています。今年の小論文のテーマは、「環境問題」です。最優秀賞受賞者には、アルバータ大学Faculty of ExtensionのESL授業料一学期分及び旅行・生活費、計3000ドルのが授与されます。優秀賞受賞者には、Faculty of ExtensionのESL授業料一学期分、約2000ドルが授与されます。

JACOS-JAPEX 工学技術奨学金

JACOS-JAPEX工学技術奨学金はアルバータ内の大学で鉱山工学、石油工学、化学工学、マテリアル工学、地質工学、環境工学に就学中の2・3・4回生の中から最も優秀な成績を収めた学部生に授与されます。

2009-10年度はアルバータ大学の6名とキアノカレッジの1名が

JACOS-JAPEX奨学金を授与されました:

ジョージ・ファイレラ (UA)	マーク・ハラーディ (UA)
ブランドン・ジョーダン (UA)	アダム・ジョーデンズ (UA)
エリサ・パップ (Keyano)	リンジー・ラムステッド (UA)
リサ・ウィルコックス (UA)	

日本-カナダ コンソーシアム (JACAC) フォーラム (試験的実施)

日本とカナダのJACAC参加機関からそれぞれを代表する上級学部生、院生及び研究者が集まり、若者の興味となる共通のトピックについて意見やアイデアを交換することを目的としています。主催はカナダ日本間で交互に実施される計画です。第一回となるフォーラムは、2010年2月15日から22日までの8日間、東京の明治大学の主催で開かれ、PTJCMFはカナダからの参加学生の旅行費の一部を負担します。今回のフォーラムで議論されるトピックは、「環境問題」です。

IV. カナダ日本研究ネットワーク (CANJAS) 報告

CANJASはアルバータ大学が中心となり、他のカナダの六大学:ブリティッシュ・コロンビア大学、ビクトリア大学、トロント大学、カルガリー大学、セント・メアリー大学、そして2009年8月から新たに参加しているコンコーディア大学を結んでいます。CANJASイベント及び講義は全てのCANJAS参加大学にビデオ・コンフィレンスを通して放送されました。

- 2009年10月30日
カール・フライデー博士: 「名誉の本分: 武士のしきたりの中の忠誠、名声、堅実性」
(*Honor Bounds: Loyalty, Reputation & Probity in the Samurai Tradition*)
- 2009年10月6日
ティモシー・アイルス博士: 「日本詩の美学、言霊: 前近代的政治論の文学」
(*Japanese Poetics Aesthetics, Kotodama: A Pre-modern Political Theory of Literature*)
- 2009年8月23-25日
CANJASシンポジウム: 高円宮日本センター主催
- 2009年3月20日
ハルオ・シラネ教授: 「日本: 四季の文化」
(*Japan: Culture of the Four Seasons*)
- 2009年3月9日
日本音楽集団 アルバータツアー: 邦楽器ワークショップ、アルバータ大学内コンボケーション・ホール
- 2009年3月2日
アニメと現代日本社会についてのセミナー
森川嘉一郎教授: 「おたく: 人格=空間=都市」
(*Otaku Culture: Personality, Space, and City of Anime Fans*)
ジャクリーヌ・ベルント教授: 「風刺的アニメ: 現代日本社会の中での意味を観察する」
(*Post critical Anime: Observation on Its 'Identities' within Contemporary Japan*)
- 2009年1月30日
ウィルバーン・ハンセン博士: 「平田篤胤の超自然的方策」
(*Hirata Atsutane's Supernatural Strategy*)

